

卒業生同士を繋ぐ

総会にて新会長が決まりました・尚建会総会および親睦会を開催しました

浅野英樹（尚建会会長 1988年卒）



令和7年度尚建会会長に任命されましたが、一期2年での務めとなりますのでよろしくお願いします。今期は①これまでの活動の継続と活性化、②建築学科創設60周年イベントの計画と実施、の2つのテーマを掲げて進めたいと考えます。そのためには入学と同時に尚建会員となる現役学生の協力も必要です。OB、OGの皆様とともにご協力ください。

野津 弘（前尚建会会長 1976年卒）



尚建会の再始動に向け2020年から準備を進めてきました。「卒業生と大学を繋ぐ、大学と社会を繋ぐ、卒業生同士を繋ぐ」をコンセプトに持続可能な活動を目指しました。役員・卒業生の皆様、学科の教職員・全学同窓会の皆様のご理解・協力をいただき、活動の基盤を創ることが出来ました。心から感謝いたします。次の新たなステージを皆さんで作って行きましょう。

6月21日（土）に“テクロビ”こと新ギャラリー「東北工業大学サテライトキャンパス（アーバンネット仙台中央ビル5F）」での総会にて役員が選任され、同窓会HPにてお知らせしました。当日夜の懇親会、また翌日のゴルフコンペを開催。これからも会員の満足が得られる活動を心がけます。



卒業生と大学を繋ぐ

優秀な成績を修めた卒業生に尚建会大賞・尚建会賞が授与されました

本年3月19日（水）の学位記授与式にて成績及び設計の各部門の尚建会大賞・尚建会賞が授与されました。賞状と賛辞の盾を贈られた下記の皆さんの今後の活躍を大いに期待しています。

尚建会大賞：〔成績〕渡辺陸斗さん（薛研究室）、〔設計〕鈴木優芽さん（錦織研究室）

尚建会賞：〔成績〕鈴木咲里花さん（錦織研究室）、〔成績〕松田凌真さん（大石研究室）、〔設計〕グエンゴック グットさん（福屋研究室）



尚建会大賞（成績部門）の渡辺陸斗さん（右）



尚建会大賞（設計部門）の鈴木優芽さん（左）

学生と卒業生を繋ぐ

建築学科2年生160名が仙台市役所新庁舎の現場見学会に参加しました

6月10日（火）に大林組JVが施工する仙台市役所本庁舎整備第1期建築工事の現場見学会が行われ、建築学科不破先生と笹本先生および大学院生有志の引率により、課外活動として市役所現庁舎のランドスケープ調査の一環で、一組40名の4班編成計160名で実施されました。

当該現場の工事事務所職員総勢約40名のうち5名が工大OBで、座学による工事概要紹介と現場巡回による状況説明はそのOBによって行わ

れ、当日は基礎部の掘削作業、地中熱利用の配管敷設作業、厚さ3mのマットコンの配筋作業とコンクリート打設作業が行われており、仮設構台からその作業を見ることができました。

各班とも、仙台市営バスを模した朝礼看板前で記念撮影をし、約100年前に建てられた二代目庁舎の基礎から採取された米製リブバーで製作されたモニュメント「鉄筋ツリー」を見つつ、現場の迫力に圧倒されていたようです。



建築を学び始めるあなたに贈る【1冊の本プロジェクト】 PPB (Project of Presentation Books to Students) 卒業生の本が新入生に手渡されました



本年度も卒業生および在校生の皆様のご協力により、新入生全員に本を手渡すことができました。加えて、2022年に始動した本プロジェクトは今年で4年目を迎え、全学年に本の配布を実施したことになります。今後も、寄贈窓口を兼ねた座れる本棚『PPB BOX』を継続して活用いただき、本の存在をより身近に感じながら、卒業生と在校生がつながるプロジェクトとして皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本年度も卒業生および在校生の皆様のご協力により、新入生全員に本を手渡すことができました。加えて、2022年に始動した本プロジェクトは今年で4年目を迎え、全学年に本の配布を実施したことになります。今後も、寄贈窓口を兼ねた座れる本棚『PPB BOX』を継続して活用いただき、本の存在をより身近に感じながら、卒業生と在校生がつながるプロジェクトとして皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

『東北SDGs研究実践拠点』産学連携交流会 ～研究シーズ発表会～が開催されました

8月1日(金)に江陽グランドホテルにて『東北SDGs研究実践拠点』産学連携交流会～研究シーズ発表会～が開催され、企業・産業支援機関の参加者、大学教職員、学生含め約155名が参加しました。第1部で講演による各拠点のシーズ発表を行い、第2部で各研究所のメンバーと参加者との意見交換も実施されました。持続可能な未来のための新しい取り組みに対する大学の熱意を感じる発表会でした。



建築プロフェッショナル論 (3年生前期) + イントーク (尚建会主催) が開講されました

本年度も4月から開講され、建築学科のOB・OGが後輩の3年生に職業・仕事等に関する講義をしました。様々な業種に携わる講師の方々の講義は、これから社会人として歩む学生さんたちにとって良い刺激になったことと思います。毎回の講義後半に学生と講師が懇談するイントークを尚建会の役員を交えて開催。7月29日(火)には講師の方々と建築学科教員、尚建会役員との懇親会を開催しました。

2025年度 建築プロフェッショナル論講師

齋藤隆太郎(本学准教授)、小島 修(2005年卒/川口土木建築工業)、福田 俊(2011年卒/オフィススグルフクダ)、森 成彰(2013年卒/大和ハウス工業)、菊田裕樹(2009年卒/仙台市役所都市整備局)、畑中 友(2012年卒/本学講師)、高橋菜緒子(2019年卒/大和リース仙台支社)、三澤 徹(2011年卒/建築工業)、小野寺紗希(2019年卒/エスパス建築事務所)、田村嘉脩(2010年卒/宮城県建築住宅センター)、佐藤義久(1997年卒/日本住宅パネル工業協同組合)、増川 駿(2022年卒/西武建設)、加藤将司(2011年卒/ウノハウス)、小林知博/(2009年卒/小林知博デザイン室)・及川恵子(2011年卒/ライター)



レターエッセイ ～活躍する卒業生～ 各地で活躍する卒業生を紹介します

栗本直美

(株式会社Nao空間設計 代表取締役・1992年卒)



空間デザインの仕事につながると考えて建築学科に進みました。結婚を機に鶴岡で設計事務所を構えています。東北各地をフィールドに仕事をしていますが、工大の卒業生と仕事で出会う度に、そのつながりがとても心強く嬉しく思います。これからも学びを忘れずにひとつひとつ丁寧に空間づくりに取り組んでいきたいと思っています。

From 山形

小林照和

(株式会社興盛工業所 代表取締役・1990年卒)



私は仙台北社の設備工事会社、興盛工業所の代表を務めています。最近「環境」という観点から設備の重要性が高まってきていると感じています。建物の快適性と省エネ性を提供する必要不可欠な魅力ある業種です。今年竣工した弊社の新社屋はBELS認証6つ星の『ZEB』。見学も歓迎いたします。

From 宮城

青木 弘

(株式会社加地和組 代表取締役社長・1978年卒)



私は、1954年生まれで建築学科の9回卒です。今から1年前に4代目社長の重責を拝命しました。

弊社は、1947年創業であり、100年企業を目指しております。顧客ニーズに応え、環境保全や安全衛生取組を実施し、地域社会に貢献する「住みよい環境を創造する」企業として頑張っております。

From 福島

建築学部ホームページ・ ニュース「CAMPUS NOW」のご案内

建築学部の“今”が分かる情報が満載です。また、石井建築学部長発行の「建築学部通信」バックナンバーもこちらから閲覧できます。



編集後記

この号から編集メンバーが一新されました。これまでの紙面づくりを引き継ぎ、尚建会の様々な活動を発信する一方で、現役学生とより一層のつながりを作るきっかけにもなれたいと思っています。よろしくお願いいたします。(齋藤 啓・1992年卒)

発行日 | 2025年10月10日

発行者 | 東北工業大学建築学科同窓会 尚建会
お問い合わせ | funaki@tohtech.ac.jp

東北工業大学同窓会ホームページ
<http://koudai-dousoukai.net>
PDF版尚建会ニュースはこちらから

